



国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No.268
2021.8

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しみ、積極的に活用するためにつくられました。

発行日 2021年8月1日
編集・発行 公益財団法人千里文化財団

みんぱくゼミナール・みんぱく映画会 会員先行予約のご案内

みんぱくゼミナールやみんぱく映画会には維持会員、正会員、家族会員を対象に先行予約がございます。
会員先行予約は該当期間中に事務局までご連絡ください。会員先行予約が定員に達した場合は、一般受付をご利用ください。

催しの詳細、受付フォーム <https://www.minpaku.ac.jp/event>



みんぱくゼミナール

第512回

規則的配色がつくりだす宗教空間 —敦煌莫高窟の千仏壁画—

講師 末森 薫(民博助教)

日時 8月21日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①国立民族学博物館 講堂での参加(定員160名)

②オンライン(ライブ配信)での参加(定員300名)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
※受付期間は終了しました。

■一般受付
・オンライン予約
期間：8月18日(水)まで
・当日受付(会場参加のみ、定員30名)

第513回

【特別展「ユニバーサル・ミュージアム—さわる!“触”の大博覧会」関連】

健常者とは誰か —琵琶なし芳一の話—

講師 広瀬 浩二郎(民博准教授)

日時 9月18日(土)13:30~15:00(開場13:00)

参加方法 ①国立民族学博物館 講堂での参加(定員160名)

②オンライン(ライブ配信)での参加(定員300名)

申込期間

■友の会電話先行受付(定員30名)
対象：維持会員、正会員、家族会員
期間：8月16日(月)~20日(金)
※先行受付は会場参加が対象です。

■一般受付
・オンライン予約
期間：8月23日(月)~9月15日(水)
・当日受付(会場参加のみ、定員30名)

申込方法

■友の会電話先行受付
会場参加のみ/申込先着順/本人を含む2名まで
【申込先】千里文化財団友の会事務局
電話 06-6877-8893(9時~17時、土日祝を除く)

■一般受付
申込先着順/本人を含む2名まで
・オンライン予約 みんぱくホームページのイベント予約サイトよりお申し込みください。
・当日参加受付(ゼミナールのみ) 11時から本館2階講堂前にて受け付けます。

◎参加無料(映画会への参加には会員証もしくは展示観覧券が必要です)。会場参加の方には入場整理券を当日11時から本館2階講堂前にて配布します。

友の会講演会のご案内

第515回

呪術を理解する —ヴァヌアツの邪術をめぐって—

講師 白川 千尋(大阪大学教授)

日時 8月7日(土)13:30~14:40(開場13:00)

参加方法 ①第5セミナー室での参加(定員40名)

②オンライン(ライブ配信)での参加(定員100名)

受付フォーム <https://www.senri-f.or.jp/515tomo/>



事前申込先着順です。

友の会ホームページ内の受付フォームをご利用ください。

ご参加は下記の会員種別のみなさまが対象です。

維持会員、正会員、家族会員、ミュージアム会員、
キャンパスメンバーズ、特別フリーパスをお持ちの方

会場とオンライン配信の併用で開催します。

当日、メイン会場が満席の場合は中継会場(第3セミナー室/
定員17名)にご案内します。

※感染症の状況を踏まえ、開催方法に変更が生じた場合、お申し込みいただいた方にはメールで個別に連絡をさせていただきます。

千里文化財団 2020年度事業概要報告

国立民族学博物館友の会は千里文化財団が運営しております

千里文化財団の活動は、友の会会員のみなさまの会費によって支えられています。

当財団は、文化人類学・民族学等の振興を図るため、国立民族学博物館（みんぱく）をはじめ、関係諸機関と連携し、その普及に努めています。人類の多様な社会や文化に対する市民の理解と教養を培い、地域社会に根ざしつつ、ひろく国際社会に貢献することを目的とし各種事業をおこなっています。

新型コロナウイルスの蔓延により、みんぱくは2020年2月28日（金）から6月16日（火）まで臨時休館し、再開後も感染症対策を徹底しながら博物館活動を継続しています。友の会では各種事業の運営方法を見直すとともに、オンライン配信等にも取り組んでまいりました。2020年はみんぱく初代館長 梅棹忠夫先生の生誕100年にあたり、梅棹忠夫生誕100年記念企画展「知的生産のフロンティア」の開催協力をおこなうとともに『季刊民族学』172号で記念特集を組み、友の会講演会では通算500回を記念し、記念対談を実施いたしました。

当財団は2020年秋に公益認定を申請し、2021年4月より公益財団法人に移行しました。より一層活動の充実に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



第500回記念友の会講演会・梅棹忠夫生誕100年記念対談「知的生産のフロンティアの原点—探検家 梅棹忠夫を語る」(2020年9月5日 国立民族学博物館講堂にて)

文化人類学・民族学の振興

みんぱくの協力のもと、学術情報を広く一般に提供する各種事業を企画・実施しました。

- ・「梅棹忠夫アーカイブズ資料の整理及びそれに基づく基礎データの整備並びに支援業務」事業への協力、研究活動の支援
※上記の一部データはweb上で公開されています。 <http://nsearch.minpaku.ac.jp/umesao-archives/index.html>
- ・家庭学術雑誌『季刊民族学』4号(172号～175号)を編集、発行。講演会を大阪で8回実施(会場280名、オンライン355名/延べ人数)

みんぱくの利用促進支援

より多くの方にみんぱくにご来館いただき、活用していただくことを目的とした各種事業を実施しました。

- ・みんぱく友の会、みんぱくキャンパスメンバーズの運営：
みんぱく友の会は市民による博物館への支援と積極的な活用を目的とし、開館当初より活動を継続
- ・みんぱくの広報誌『月刊みんぱく』の編集協力等(受託事業)
- ・ミュージアム・ショップの運営(みんぱく広報、並びに教材制作及び頒布事業)
- ・オリジナルカレンダー(特別展「先住民の宝」関連)の制作及び広報普及活動
- ・来館者の学習支援事業(受託事業)：展示案内学習支援等業務、研究資料整理・情報化及び利用管理業務、民族学資料共同利用窓口業務 ほか
- その他、特別展及び企画展の各種広報活動、館外催しへの協力事業

博物館活動支援／地域活性化、文化振興協力事業

みんぱくに集積された知的財産を活用するプログラムを企画し、博物館を支援する活動を実施するとともに、各種文化活動に協力しました。

- ・各地の博物館等の施設を活用するみんぱく巡回展の開催
名称：「驚異と怪異——モンスターたちは告げる」
会期：2020年6月23日(火)～8月16日(日) 入場者数：14,016名(延べ人数) 会場：兵庫県立歴史博物館
- ・各地の博物館展示案内等の編集業務：愛媛県総合科学博物館展示案内『山と海が育てた愛媛の産業』の編集協力を受託(日本生命財団)
- ・日本万国博覧会記念公園関連施設との連携事業の実施
名称：第38回比較文明学会大会国際シンポジウム『「いのち」をめぐる文明的課題の解決に向けて』(万博開催50周年記念)
会期：2020年11月21日(土)～11月23日(月・祝) 参加者数：369名(延べ人数) 会場：国立民族学博物館(オンライン配信の併用)
- ・第29回「松下幸之助花の万博記念賞」選考に関する業務を受託(松下幸之助記念志財団)
- その他、「日本展示学会」の事務業務、同人雑誌『千里眼』の編集及び発行

国立民族学博物館友の会 会員数

2021年3月末日時点の会費納入件数
※登録件数ではありません

維持会員	正会員 (家族会員を含む)	ミュージアム会員	みんぱく フリーパス	キャンパス メンバーズ
103口 法人50社、個人4名	1,397件	119件	58件	6校2学部

お問い合わせ、お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

国立民族学博物館友の会
公益財団法人千里文化財団

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園 10-1 (国立民族学博物館 3 階)
電話 06-6877-8893 (9:00～17:00、土日祝を除く)
FAX 06-6878-3716
email minpakutomo@senri-f.or.jp
HP https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/

